

令和2年8月

逗子市教育委員会定例会

令和2年8月7日

逗子市教育委員会

会 議 録

令和2年8月7日逗子市教育委員会8月定例会を逗子市役所5階第2、第3、第4会議室に招集した。

◎ 出席者

教 育 長	大河内 誠
教育長職務代理者	村上朝鼓
教 育 委 員	星山麻木
教 育 委 員	若林順子
教 育 委 員	高橋 康
教 育 部 長	村松 隆
教 育 部 次 長	佐藤多佳子
教育総務課長事務取扱	
学 校 教 育 課 長	杵山英廷
学校教育課担当課長	内田源一郎

事務局

教 育 総 務 課 係 長	須田純子
教 育 総 務 課 主 事	吉井まどか

◎ 開会時刻 午後2時30分

◎ 閉会時刻 午後5時08分

◎ 会議録署名委員決定 星山委員、若林委員

○大河内教育長

会議に先立ち、傍聴の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○大河内教育長

定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年逗子市教育委員会8月定例会を開会いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は星山委員、若林委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

◎日程第1「教育長報告事項について」

○大河内教育長

日程第1「教育長報告事項について」を議題といたします。

それでは、前回の定例会から教育長会議等はありませんでした。その中で、8月2日から5日にかけて発生いたしました、市内の有料老人ホームにおける新型コロナウイルス感染についての状況についてお話しさせていただきます。昨日8月6日付、市長が市のホームページにコメントを載せております。コメント内容にもありますが、全容解明まではしばらく時間を要するようです。市といたしましては、今回の集団感染につきましては、事業者、医師会、県、市がしっかりと連携を取りながら、正確な情報を発信し、早く収束できるよう、全力で対応してまいります。また、市民の皆様には感染の方、御家族のプライバシーへの最大限の配慮をお願いするところでございます。教育委員会としても、このような状況下、感染が確認された方々へ誹謗中傷や人権を無視した行為があってはならないと考えております。御自身や大切な人の命を守るため、基本的な感染予防対策を徹底していただけますよう、お願いいたします。

また、図書館を始め、教育委員会の所管する各施設におきましても、引き続き感染予防対策に取り組み、運営を行ってまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

本件について御質問、御意見はございませんでしょうか。よろしいですか。

以上で教育長報告事項について終わります。

◎日程第2「議案第13号令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」

○大河内教育長

続いて、日程第2「議案第13号令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○内田学校教育課担当課長

日程第2「議案第13号令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」御説明いたします。

これは義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び第14条並びに同施行令第14条の規定によりまして、令和3年度に逗子市立中学校で使用する教科用図書につきまして決定していただくものです。

逗子市教科用図書の採択方針につきましては、書面開催にて行われた4月の定例教育委員会において決定していただき、4月27日には逗子市教科用図書採択検討委員会を設置いたしました。その後、5月に逗子市、三浦市、葉山町の2市1町合同調査委員会が設置され、検定済み教科用図書についての調査研究が行われ、その調査研究結果をもとに、7月20日の第2回逗子市教科用図書採択検討委員会において検討協議が行われました。

本日の採択に当たっては、7月30日付文書で検討委員会委員長より教育委員会に提出報告された、今年度の逗子市教科用図書採択検討委員会の報告も資料の一つとして参考にしていただきながら御審議いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、本日お配りしている資料の令和3年度使用中学校教科用図書目録の中にあります、株式会社学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」、日本教科書株式会社「道徳」につきましては、見本本の送付がありませんので、審議の対象にはならないことを申し添えます。以上です。

○大河内教育長

本件について、御質疑、御意見はございませんでしょうか。

各委員におかれましては、これまで検討委員会からの報告を受けて、調査研究を重ね、本日の審議に臨まれているのかと思いますので、審議に当たっては皆様から御意見をいただきながら、最終的に1社を選択したいと思っています。

なお、選択の方法は、挙手により賛意を表明することとし、多数をもって決定したいと思います。

お諮りいたします。採決の方法は挙手により賛意を表明することとし、多数をもって採択を決定いたしたいと思いますが、御異議はございませんでしょうか。

(全員異議なし)

御異議がないようですので、そのとおり進めさせていただきます。

では、令和3年度より市立中学校で使用する教科用図書について審議に入ります。

審議に先立ちまして、幾つか確認させていただきます。

まず第1に、教科書採択に当たって、最も尊重すべきものは教育基本法と学習指導要領であること。

第2に、検定を通過した教科用図書については、どれも教育基本法及び学習指導要領を反映したものと捉え、先ほど事務局から説明があった2社を除く、全ての検定済み教科用図書を採択の対象とすること。

第3に、採択検討委員会の所掌事務は、逗子市教科用図書採択検討委員会の設置及び運営に関する規程に定められているとおり、教育委員会が行う教科用図書の採択に関わる基本的かつ必要な事項について検討・協議し、その結果を教育委員会に報告することであること。並びに、採択検討委員会から提出された3つの資料、①2市1町合同調査研究委員会作成の教科用図書調査研究報告書。②2市1町合同調査研究委員会による調査研究結果。③教科書展示会での展示において閲覧された保護者・市民からの感想・意見、これについては採択の際の重要な参考資料とするものの、教育委員会における決定を左右するものではないこと。

第4に、採択された教科書を用いて、実際に授業に当たる教員の意向は重視・尊重すること。並びに、教員は採択された教科書を用いて授業実践に創意工夫をし、児童・生徒の学力向上に資するものとする。

第5に、採択するに当たって本市教育委員会として重視するポイントを、①学習につまずきやすい生徒にも使いやすいもの、②学習した内容が日常生活の様々な場面に結びつきやすいもの、③学校行事や学校生活との関連が考慮されているもの、④本市の教育重点方針と関連が深いものの、以上4点とすること。

なお、採決につきましては4名の委員から意見を聴取し、挙手を行います。賛同する教科書の内容が同数の場合には、最終的には教育長決裁といたします。

以上、御確認いただけますか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

特にないようですので、御確認いただけたものとして進めさせていただきます。

それでは、中学校の教科用図書の採択に入ります。

最初に、中学校国語についてです。何か御意見はございませんでしょうか。

○村上委員

私は全部の教科書に目を通させていただきました。今、教育長の御説明にあったように、子どもにとって使いやすいものか、身につけ、生かせるところを一番に考えて見てまいりました。どれもすばらしくて、自分たちが学んだときよりもカラーのページも多く、字なんかユニバーサルデザインが施されていて、すごく見やすいものになっていました。その中で私は東京書籍と光村が目を見て、すごくいいなというふうに思いました。

まず、東京書籍のほうは手引で何を学習するかがとても分かりやすく、子どもが自ら学ぶということがしやすいような記述になっていたと思います。また、「言葉の力」というところで、自分が読んでいる中で気づくというところに導かれるものがあるって、学びが深くされるのではないかなというふうに感じました。

あとはもう一つ光村ですけれども、最初のページのところで、学習の見通しをすごく丁寧に書いてあって、話し合いの手順であったり、方法など、またこれは本当に大人でもこの教科書が欲しいのではないかなというぐらいの、細かく、みんなで話し合っていく手順が分かりやすいものです。どういうふうな思考で考えていけばみんなで話が進められるかということが分かるところがすごくいいと思っています。またそれが主体的に学べるようになるという工夫だとも思って、あとはこの取り上げられているお話なんかもすごくよいものが選ばれているなというふうに感じました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○若林委員

今、村上委員もおっしゃったように、本当にどの会社のも学習指導要領のポイントである主体的・対話的に深い学びができるというようなことに工夫されているなと感じました。文学作品や詩やいろんな説明文とかもバランスよく載っていて、もう本当に読み込んでしまいました。

東書と光村とで迷ったのですが、今本当、読書離れ、活字離れというのが言われて久しいと思うのですが、東書のほうでも「読書案内」というコーナーがあって、載ってい

る作家さんの関連する図書とか、本の説明や紹介とかもされていて、いいなと思いました。

1年生の国語の教科書を見たのですが、光村のほうは最初のほうに中学校の入学式で友達ができるというエピソードがあって、等身大のお話がそこにあるというのは入り込みやすいかなというところで、そこがとてもよかったなと思ったのと、あと「学習の窓」というコーナーが光村にあって、学習を通して身につけるポイントというのを示されていて、学習しやすいのではないかなと思いました。光村がいいなと思いました。

○大河内教育長

ありがとうございます。

○星山委員

私は三省堂と光村で迷いました。

三省堂のほうはですね、思考の…論理的な思考の順序に対して非常に丁寧なガイドがあるのいいのではないかなというふうに思いました。

光村のほうは、作品の選び方とか、それから深い、いわゆる主体的・対話的、深い思考の深い読み方、教科書で終わるのではなくて、そこから先、文学作品とか、自分で図書館に行ったりとか、ということに広がっていくようなところがいいと思います。中学生、大変重要な時期だと思いますし。あとは、逗子は小さい市なのですが、図書館も非常に充実していて、ふだんから割と本を読むということに関しても力を入れているので、そういう意味から考えても、文学作品とかふだんの一つ一つの作品に関してつながりやすい、そういう意味で私は光村がいいのではないかなと思いました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。その他ございますか。

○高橋委員

私も全部見させていただきました。その中で、先ほど村上委員からもお話がありましたが、東京書籍の「学びの扉」というところから、「学びを支える言葉の力」という、この導き方が非常に理解を深める上で有効な手段といたしますか、仕組みかなと感じました。

また、観点として読書活動を広げるという中で、光村については、本の紹介が單元ごとにされていてですね、また、様々な題材が取り上げられて、他教科にも興味が向けられるような工夫が感じ取れました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかございませんか。

それでは、今、御意見をいただいた中で、東京書籍と光村の社名が出てきたのですけれども、東書と光村で、皆さんが最終的に挙手をする形でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、国語につきましては、東書と光村で皆様から挙手をしていただきたいと思えます。

それでは、最初に東書、東京書籍がいいという方、挙手をお願いします。

(挙手なし)

では、続きまして、光村図書がよろしいと思われる方、挙手をお願いします。

(挙手全員)

それでは、分かりました。最終的に2つに絞った中で、東京書籍と光村図書について、最終的な挙手をいただきました。そこで、光村が4、東京書籍が0ということで、光村図書を採択する形でよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

それでは、全員一致で光村図書の「国語」を採択することに決定いたしました。ありがとうございます。

続きまして、中学校書写についてです。御意見をお伺いします。

○高橋委員

書写についてはですね、日常の学習や生活に役立てるかどうかという観点で見させていただきました。

東京書籍についてですが、QRコードからの動画という仕組みがありまして、実際に見てみますと、書きながらのですね、ポイントで、音声で解説が入っているということで、すごい丁寧な動画がそれで見ることができました。とても分かりやすいのかなと思います。

光村にも同じようにQRコードというものがやっぱり記載されていました。

全体的に見てですね、分量とか、各学年、学びを進めていく中でのバランスとかが取れているのは光村のように感じました。私は光村を推薦いたします。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほかにはございますか。

○若林委員

書写も4社ありまして、全て見させていただいたのですが、やはり東書と光村で迷ったのですが、東書は「書写の鍵」というコーナーがあって、ふだん使っている硬筆から行書

になるというところが分かりやすく、必ずこういう箇所があって、勉強しやすい感じで、よかったですと思います。光村のほうは、国語にもさっき言った「学習の窓」というコーナーがありまして、それが書写のほうにもあるというところが、学習のポイントとかそういったところを同じようになっているのは見やすいのかなと思いましたので、結果的に光村とっております。以上です。

○大河内教育長

光村ですね。ありがとうございます。ほか、どうでしょうか。

○村上委員

私も全部見させていただいた中で、先ほどの国語と同じなのですが、東京書籍とあと光村で考えさせていただきました。東京書籍のほうは、それぞれの単元の流れの中で学習を振り返って話し合うということが書写でも取り入れられているところは、とてもすばらしいなと感じました。

光村のほうは、国語のほか、ほかの教科、日常の言語生活で生かすというところに重点が置いてあるように感じました。やはり国語というところの関連も含めて、光村がよいと考えています。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございました。その他ございますか。

○星山委員

私も東京書籍か光村かなと思って拝見しました。どちらも大変見やすいかなと思ひまして、実際子どもたちが机の上に置いて練習するときなどにふさわしい教科書がいいのではないかなと思います。4社ともとても工夫されていたのですけれども、最終的に私も光村がいいなと思ひました。見やすいですし、それから、これからの段階を追いながら少しずつ、国語と連動して勉強していくということに非常に使いやすいのではないかなと思ひました。以上です。

○大河内教育長

それでは、4人の委員から意見を頂戴する中で、書写については最終1社を絞ってお話をいただいたと私のほうで思っておりますが、意見が多かった教科書については光村図書に一応絞られたお考えだと思うのですが、皆様確認いたします。光村図書を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いいたします。

(挙 手 全 員)

それでは、全員一致で光村図書を採択することに決定いたしました。よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

続きまして、中学校社会科（地理的分野）に移ります。社会科のほうに移りますので、皆様まとめられた資料のほう、大丈夫でしょうか。地理分野について御意見を伺いたと思います。いかがでしょうか。

○村上委員

社会の教科書についても、本当に自分たちが学んだときとは本当に全然違う教科書になっていて、小学校のときの教科書につながっていくような、本当に見やすくなって、学びやすいなど、全体を見て感じました。

私はその中でも東京書籍がよいと考えています。というのは、自分は社会が苦手だったということもあり、すごくポイントが分かりやすく提示されていて、教科書の中で、先生がお話しされていることが探しやすいのではないかな、学びやすいのではないかなという、子ども視点で見させていただいてみました。その中でもSDGsを取り上げてあったりとか、教科書の中にQRコードがあったりとか、自ら学ぶこともできるような工夫もされているところがよいと思いました。

あともう一つ、小学校の社会で習ったこととのつながりなんかも、とても丁寧でいいと思います。

○大河内教育長

確認で。東京書籍ということで絞られたということでもよろしいですか。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございました。ほかどうでしょうか。

○若林委員

どの会社も本当に工夫がされていて、もう見ているとわくわくするような教科書で、すごく、いいなと思って見ていました。本当迷ってしまうのですが、東京書籍のほうでもSDGsということで、持続可能な社会を実現するためにという取組を考えようという、そのコーナーがすばらしいなと思ったのですが、帝国書院がいいかなと思ったのは、本当に写真とかイラストとか見やすく配置されていて、文字が太くて読みやすいかなと思いました。それぞれの節の初めにカメラのマークがあって、写真で眺める関東地方とか、そういったの

も見やすく、節の最後にも「学習を振り返ろう」となっているのが深い学びにつながるかなと思いました。

あと、ページの下の方に小学校との関連、小学校で学んだことがまた気づかされる部分がちやんとありまして、歴史・公民との関連もあるのですが、その辺が小学校で習ったことにつながっていけるというようだったので、大変いいかなと思いました。なので、帝国書院を。

○大河内教育長

帝国に絞られるわけですね。

○若林委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

○高橋委員

私は東京書籍と帝国書院の2つに絞りまして、東京書籍のもっと地理コーナーは、何か一歩踏み込んだり、ちょっと違った視点から見たりという、学びを広げる工夫がされていて、非常に興味深かったです。

帝国についても、先ほどお話がありましたが、小学校のときで習った言葉とか、前回小学校とのつながりとかですね、あと学習の振り返りをするための工夫が見られて、子どもたちにとって学びやすいものなのかなと感じまして、私は帝国がいいなと思います。以上です。

○大河内教育長

確認ですけども、帝国に絞るということでよろしいですか。

○高橋委員

そうです。

○大河内教育長

そのほかいかがですか。

○星山委員

私も帝国書院がいいなと思いました。理由としては、子どもたち、使いやすい、学びやすい工夫の点において、どの教科書も素晴らしいと思ったのですけれども、一番引かれました。特にポイントとか、それから子どもたちが学ぶときの問いかけなどが非常に優れているのではないかなと思いました。以上です。

○大河内教育長

それでは、4人の委員から御意見をいただきましたけども、確認です。皆様1社に絞ってお話をいただいたと私のほうでは確認しております。東書に絞られた委員、それから帝国に絞られた委員で、村上委員は東書ですよ。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

ほかは帝国ということですけども、確認をいたします。地理については帝国書院と東京書籍の御意見が出ていましたので、採決を挙手によってしたいと思います。

それでは、まず初めに、東京書籍を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 1 名)

続きまして、帝国書院を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 3 名)

それでは確認です。1対3ということで、帝国書院の社会科「中学生の地理」を採択することに決定いたしました。よろしいでしょうか。

それでは引き続きまして、中学校地図に移りたいと思います。それでは、何か御意見がございましたらお願いいたします。

○若林委員

私も全部見させていただいて、その中で東京書籍と帝国書院で迷いました。どちらも本当に地図とか見やすいですし、資料もとても見やすいのですけども、逗子は海や山に囲まれて、本当自然災害とかも心配な部分もありますので、その辺のところをポイントにして見てみました。

そういう意味で、帝国書院の側に、日本の自然災害と防災というところが分かりやすく、大きな紙面で、そのプレートとかの様子も日本地図があって分かりやすかったり、日本の気候で台風や雨についての説明も詳しかったと思いました。防災に関する資料がヘルメットマークで示しているというところも、防災意識が高いと、私は帝国書院に対して思いましたので、帝国書院がいいかなと思いました。

○大河内教育長

2つ、東書と帝国で迷われて、今、防災意識の関連も含めて、最終的に帝国でよろしいの

でしょうか。

○若林委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほかにはどうでしょうか。

○村上委員

私は2つの教科書会社の中で、先ほど地理と同じく、東京書籍がいいなというふうに思っています。

まず、大きさなのでですけど、いつも地図帳というと少し大きかったりということで、扱いにくかった記憶があるのですが、教科書とそろっていて、子どもが扱いやすいであろうということも一つ理由です。また、自分が社会が苦手だったので、いつも地図帳で探せなかったというようなことも踏まえて、すごく地図の使い方について巻頭で説明がかなり丁寧にされていて、地図のマークなんかも大きく見やすく提示されているというところがとても、分からない、ついていけない子どもにとっても優しい教科書だなと思っています。また、ただの地図では終わらずに、SDGsをすごく取り扱っていたりとか、あと、先ほども防災のお話もありましたけども、こちらのほうでも自然災害が分かる資料があったりですとか、また、私が、あ、こういうこともあるのだなというので驚いたのは、現代的な諸問題の中で紛争とか難民の問題なんかも取り上げられていて、社会…ニュースを見て感じたことを地図上で確認できるというのはすごく新しい、いや、前からもあったかもしれないのですが、すごくいい視点だなと感じました。おうちに置いていて、ニュース見ながら地図帳開くということもあるでしょうし、すごく使いやすそうだなと感じました。

○大河内教育長

確認ですけども、東書に絞ったという形でよろしいですね。

○村上委員

そうです。

○大河内教育長

そのほかいかがですか。

○高橋委員

まず、私も東書と帝国を見させていただいて、やっぱり地図に書いてあることからどういった情報を読み取ってどうまとめるかというようなことが、知恵とか技術が必要なのかなと

と思いますが、東書については、地図帳の中ですね、他教科とのつながりが分かりやすく示されていたというのが印象に残りました。

帝国については、写真など、先ほどお話あったとおり、大きめなのかなと思いましたし、写真や印刷等がきれいにされていて、あと内容が豊富に掲載されていると感じました。そういう観点から、私は地図については帝国。

○大河内教育長

帝国でよろしいですか。

○高橋委員

帝国がいいなと思いました。

○大河内教育長

そのほかありますか。

○星山委員

両方ともすごく、ちょっと視点が違うかなと思ったのですが、それぞれ優れていると思います。

東京書籍のって、全ての教科通してそうだと思うのですが、非常に見やすいですし、地図を、どんな子でも使いやすいという視点到きに重きを置かれて作られているのではないかなというところ、非常にいいのかなと思いました。

帝国書院のほうは、やはり地図帳ということにおいて非常に本格派というか、長く使う、あるいは家族で、中学校で使う地図帳をずっと使ったりするというようなこともあるのかもしれないなということから考えると、細かい地図帳の構成であるとか、使い方であるとかということですね、そういうことに関しては割と、地図帳らしい地図帳という言い方も変なんですけれども、いいのではないかなと思いました。以上です。

○大河内教育長

帝国でよろしいですか。

○星山委員

帝国です。

○大河内教育長

それでは、ありがとうございました。御意見の中に帝国書院とそれから東京書籍についての2社に絞られた話だったと思います。

それでは、採決をしたいと思います。帝国書院を採択するのがよいと思われる方。

(挙 手 3 名)

では、東京書籍を採決するのがよいと思われる方。

(挙 手 1 名)

それでは、3対1ということで、帝国書院の中学校社会科「地図」を採択することに決定いたしました。よろしいでしょうか。

それでは、次に中学校社会（公民的分野）についてです。何か御意見はございませんでしょうか。よろしくお願いいたします。

○村上委員

社会の公民ですけれども、私は東京書籍がいいかなというふうに思いました。というのは、社会の地理、歴史ということとすごく連携して分野の関連マークが取り上げられているということで、総合的に学べる工夫がされていると思いました。また、小学校の振り返りが設けられているので、記憶をたどりながら、あのときのこれだなということが分かるということと、また、こちらの公民でもSDGsを取り上げて現代的な諸問題を考えるようなつくりになっているのがいいかなと思いました。

○大河内教育長

東書に絞るということによろしいですか。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほかはどうでしょうか。

○星山委員

ちょっと先ほどの迷ったという話もしたのですが、私は、公民は東京書籍がいいなというふうに思いました。体験活動のことについてですとか、それから、これからの情報の活用などについてですとか、それから、全体的にですね、体験というか、非常に子どもたちがこれからの社会の中で生きていくときに、自分で考えたり、多角的に物事を捉えるということに関して非常に視点が置かれていて、いいのではないかなと思いました。

○大河内教育長

東書でいいということですね。

○星山委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。その他ございますか。

○若林委員

私も、6社ありますけれども、東京書籍と帝国書院という形で迷ったのですが、東京書籍は公民というのは何を学ぶのかという部分が、未来の社会を切り開く力を身につけてくださいというメッセージ、現代社会に生きる全ての人々が安心して暮らせる社会をどのようにつくれるのかということを考えながら皆で主体的に討論するというようなメッセージを感じました。「見方・考え方コーナー」というのがあって、学びを深めることができるようになっているなということと、各章ごと…帝国もそうなのですが、各章ごとにバランスよく、統計資料だったり、写真とかも配置されていて、帝国さんのほうのいいところも考えたのですが、最終的に東京書籍を推したいと思います。

○大河内教育長

東書でよろしいですか。

○若林委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかいかがですか。

○高橋委員

私はですね、帝国書院を推したいと思います。1年間の学習の見通しや、あと学習の振り返りというところに非常に工夫が見られて、学びやすいのかな。それから、あと身近な様々な事例が紹介されているというところについても、生徒たちが身近なこととして捉えることができる工夫がされているように感じました。ということで、公民は帝国がいいというふうに思います。

○大河内教育長

分かりました。それでは、中学校の社会（公民的分野）につきましては、2社の御推薦をいただいたということで確認しました。東書を推される方、それから帝国を推される方ということだと思います。それでよろしいですね。

それでは、社会科（公民的分野）につきましては、東京書籍と帝国書院でお諮りしたいと思います。

まず最初に、東京書籍を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いいたします。

(挙 手 3 名)

続いて、帝国書院を採択するのがよいとお考えの方、お願いいたします。

(挙 手 1 名)

それでは、3対1ということで、東京書籍の「新しい社会公民」を採択することに決定いたしました。よろしいですか。

次に、中学校の社会（歴史的分野）についてです。社会の歴史的分野について何か御意見がありましたらお願いいたします。

○村上委員

歴史は6社の教科書を見せていただいて、表紙なんかもすごく興味をそそるようなデザインであるとか、あと文字をデザインした、すごくすてきな表紙の教科書なんかもあって、皆さん工夫されているなという感想を持ちました。その中でも、東京書籍とあと帝国書院の歴史の教科書が目にとまりました。すごく2つとも分かりやすく、見出しの色や写真の美しさなんかも、とても両社ともすばらしいなというふうに思いました。

その中で、帝国書院、歴史の流れの何時代というのが、東京書籍のほうは下のほうにつけられていて、帝国書院のほうは右側のとじてないほうの端についていて、そこで自分で勉強するときにこの時代というところを開けるとい、また元に戻って確認できるというようなところが、右側についているほうが見やすいのだろうなと感じました。

また、歴史ではあるのですけれども、ただ記憶をするというようなことではなくて、やはり主体的で対話的な学びを促すつくりになっていた帝国書院のほうの方がより分かりやすい。また、イメージで「ながめてみよう」というページがあるので、そこを見ながら主体的・対話的なものの、気づきを得る。自ら気づくというところのつくり方がすごく面白いし、自分は歴史があまり好きではなかったのですけれども、こういうふうに学んでいたらもしかしたら好きになったかもしれないと思うくらい、ちょっと興味をそそられました。なので、私は、ちょっと悩んだのですけれども、帝国書院がいいと思っています。

○大河内教育長

帝国に絞るということですね。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかございますか。

○高橋委員

私も帝国と東書で絞りまして、帝国については用語の解説が、要所要所に載ってまして、その内容としては小学校の学習の内容や、あと他教科の地理的分野とか公民的な分野と関連づけた用語なども掲載されていて、非常に分かりやすいなと感じました。

東書については、写真や絵とかが非常に豊富に載っておりまして、歴史の流れを、何かそういった、見ているだけで視覚的に何か学べるというイメージを受けました。

私は、2社のうち帝国がいいなというふうに思います。以上です。

○大河内教育長

そのほかございますか。

○若林委員

歴史、見させていただいたのですが、やはり歴史というと、私なんかは本当にもう暗記の科目みたいな、そういうイメージが強かったのですが、東京書籍のほうで、「私たちはなぜ歴史を学ぶのでしょうか」って、やっぱりメッセージってすごく大切だと思っていて、過去を知ること未来を考えると、現在でもそうなのですが、いろいろな問題解決をするヒントがあるというようなメッセージを感じました。なので、ただ覚えるのではなくて、読み込んでいくのも楽しいという意味で、東京書籍はいいなと思った。あと、索引のところも人物と事柄というのに分かれてしてあるところも分かりやすいなと思いました。

帝国書院と迷ったのですが、本当に学習の進め方とか深め方という対話的な部分を多く示されていて、迷ったのですが、東京書籍を推したいと思います。

○大河内教育長

東書に絞るということによろしいですか。

○若林委員

大丈夫です。

○大河内教育長

そのほか。

○星山委員

私は結構、どこに視点を置くかによってすごく違うなというふうに思いまして。例えば高校になったときにもっと学びを深めるというようなことに重点を置くのだと、山川とかすごくいい教科書ではないかなと思いました。

総合的には東京書籍がいいなと思ったのですが、それは先ほども出てきましたが、公立

の中学校で、全ての子どもたちが歴史になるべく問題意識を、いろいろな課題意識を持ってもらって、それなりに自分で解決するという、課題解決型の学習ということに関して非常に配慮されているので、いいのではないかなと思いました。いろいろ迷ったのですが、最終的には東京書籍がいいのではないかなと思いました。

○大河内教育長

東書で、1本に絞る。

○星山委員

はい。

○大河内教育長

それでは、中学校社会（歴史的分野）につきましては、4人の委員さん、2社に絞ってお考えが割れているのではないかとと思いますが、2つに絞って挙手をする形でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

それでは、社会科の歴史的分野につきましては、東京書籍と帝国書院でお諮りしたいと思います。

まず先に、東京書籍を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いします。

（ 挙 手 2 名 ）

ありがとうございます。

続きまして、帝国書院を採択するのがよいとお考えの方。

（ 挙 手 2 名 ）

2対2ということで同数ですので、それでは、教育長採択ということで、私のほうで考えを述べさせていただきます。ちょっとお待ちください。

調査報告会のときに、調査をされた先生方にも質問したのですが、受け取るほうの我々に対して教師目線で説明しているのか、それから子ども目線で説明しているのかということも、何人かの先生方に質問させていただきました。教科書を取ったときに、子どもだったらどうなのかな…中学生ですよね。そういうことで、たくさん御意見いただきましたので、子ども目線、子どもが使うときにどうかということも踏まえて、学習指導要領において示された教科の目標を踏まえながら、以下のことに絞ってまとめたいと思います。

一つはですね、逗子の生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成の工夫が配慮されているか。両者優越も、どちらという形でちょっと決めがたいのですが。

もう一つは、逗子の選択の基準にもありましたが、生徒の指導上の難易度、いわゆるつま

ずきに応じた工夫や配慮がされているかどうか。

それから、一番は、現場の先生が生徒の実態を見てどうなのかというところで、調査報告書も含めながら、委員の皆様の話は今聞き、私の判断ということで述べさせていただきます。

2社、本当にどちらを取ってもおかしくないというふうなところですが、今の逗子の子どもたちにとってということで、分かりやすく理解が深まるどころの…あとはつまりきに応じた工夫の配慮、そして逗子の生徒にとってどうなのかというところを踏まえて、総合的に判断した結果、私は帝国書院。帝国書院の社会科「中学校の歴史」を採択するということにしたいと思います。歴史につきましては帝国書院に決定いたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、中学校数学についてです。何か御意見ございませんでしょうか。

○高橋委員

ちょっとこれ個人的なのですが、私、当時連立方程式でちょっとつまりきかけた経験がありまして、今回教科書でもう一度学び直しをさせて…その連立方程式の章を中心にざっと確認させていただいた中で、2つ感想をお話しさせていただきたいと思います。

啓林館、やっぱり数学は積み重ねが大切だと思いますし、途中で分からなくなっちゃうと本当にもうどんだん分らなくなっていて、嫌になっちゃってということで、本当数学が嫌になってなると、また後々いろいろと影響がありますが、この啓林館に、末巻に「学びのあしあと」という、自分の学んできたものを整理したり、どこが足りなかったとかということの振り返りができる形でまとめてあるものがありまして、非常にこれは有効的な手段なのかなというふうに感じました。

あともう一社、大日本ですが、先ほど言った方程式の解説、連立方程式の解説はどの教科書も全部同じですね、数学ですから同じなのですけれども、その中で見方、視覚的なもので、黒板を模した回答例というものがありました。それを見ていてですね、非常に印象深く、これも振り返りのときに、あ、あのときのあのページのあそこだというような、視覚的に覚えるという効果があるのかなと思います。1年、2年、3年についてもそういった手法を取られていますので、私は、数学については大日本がいいなと思います。以上です。

○大河内教育長

大日本1社ということですね。

○高橋委員

はい。

○大河内教育長

そのほかどうでしょうか。

○星山委員

今、高橋委員がおっしゃった、大日本図書がなさっているその黒板をちゃんと想定した、そのとおりの教科書ってすごく引かれましたね。どうしてかということ、私、特別支援が専門なので、そもそも黒板の字をノートに写すときにつまづく子がものすごく多いのです、最近。それを、教科書を作る方が意識してくださっているかで、すごく救われる子がたくさんいるのですね。特に算数と数学、すごくつまづくんですよ。多分先生気づいていないのですが、黒板に書いて、どこが自分のノートの位置なのか分からなくて、数学好きな子もそこでつまづいてしまうのですね。その視点はすばらしいなと思ったので、これから教科書を作られる方がすごくそういうことって、子ども側にすると、大人が思ってもみないところにつまづいているのだという、ちょっとそれは教科の内容ではないですけど、そこ本当、確かにすばらしい視点だなと思いました。

ですが、私は逗子とも、中学校の公立の子どもたちに合った教科書をということなので、啓林館がいいかなと思ったのですね。それはやっぱり、学びが系統立って、特に数学、急に難しくなりますし、それから差が激しく出てくるところだと思うのですけれども、自分で意欲を持って、自分自身の力で学び直しができる手引だったりというところが丁寧じゃないかなというふうに思いましたので。他社のいいところもたくさんあるなと思いつつも、1社と言われたら啓林館かなと思いました。以上です。

○大河内教育長

1社に絞って啓林館ということですね。

○星山委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

○若林委員

本当にどの会社も数学から算数への振り返りという部分があって、小学校の復習ができる工夫がされているのだなと思いました。もう今、星山委員の話聞いたらちょっと揺らいちゃうのですが、大日本図書のほうも、そういった意味では工夫がされて、今お聞きしたところもいいなと思ったのですが、私も数学が苦手だったので、問題数が多いとかという、例

示問題とか、そういったことも、繰り返し解くことで分かってく部分もあるのかなと思って見たりしたときに、啓林館はその辺、章末問題があったり、問題数が多いかなと思いました。それで、後ろのほうから今度は縦にというのは、向きを変えて、その辺も工夫、みんなで学ぼうという2つの編、2部構成になっているところが、自分から学ぼうということと2部構成になっているということも学びが深まるのかなと思ひまして、甲乙つけがたいのですけれども、私は啓林館と思ひました。絞りました。

○大河内教育長

1社で絞るとのことですね。

○若林委員

はい。

○大河内教育長

そのほかいかがですか。

○村上委員

私も、数学7社見せていただいて、それぞれにいい点があるなというふうに感じています。東京書籍はすごく見やすく、ポイントが分かりやすいということと、ノートの作り方のページが充実していて、自分でノートを作っていく上の助けになるような工夫がされていました。

あと、また大日本図書は、先ほど申し上げたように、つまずきに対応されるという視点がすごく強いなというふうにして、章の途中にある「たしかめよう」というところで、どのページを振り返ればよいかという点でも、やっぱりつまずきというところをすごく重点に見てくださっているのかなと思ひました。

また、教育出版は巻末に前の学年の復習と補充問題があつて、自分で振り返って学びが足りないところを補えるというところ、あと、先生たちが確認に使つたりもできるのだろうなと思ひています。

その中でも、ちょっと私が面白いなというふうにして思つたのはやはり啓林館で、視点がすごく面白いですよね。その章に入っていくときの問いの仕方で、そこで対話をするというつくりを、結構いろいろな教科書会社が作つていたのですけれども、その例えが、私の感想としては一番面白い。やはり勉強をし始めるときに、やはり面白い、興味があるというところが、入りとしてはとても大事だと思ひるので、そこが一番ポイントだということと、あと小学校であると教科書とワークブックという何か2つで、教科書の問題で足りないところをワー

クで補って、そこを宿題でというようなやり方でやっていると思うのですが、それが1つの教科書になって、自ら後ろで問題を解いていくということができるとするのは、その教科書のつくりもすごく考えられていて、使いやすいなと感じました。

なので、いろいろな教科書のいい点はあるのですが、啓林館で…。

○大河内教育長

絞ることでいいですか。

○村上委員

いいと思っています。

○大河内教育長

それでは、数学については、大日本図書と啓林館のいわゆる御推薦があったと思います。

最初に、啓林館を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いします。

(挙 手 3 名)

ありがとうございます。

続いて、大日本図書を採択するのがよいとお考えの方。

(挙 手 1 名)

ありがとうございます。

それでは、3対1ということで、啓林館の「未来へひろがる数学」を採択することに決定いたしました。よろしいでしょうか。

次に、中学校理科に移りたいと思います。中学校理科について何か御意見ございませんでしょうか。

○高橋委員

大日本と啓林館について、この2社についてですね、大日本については単元末のまとめや問題が非常に分かりやすくまとめてあって、その後、読解力を求めるというこのつくりが非常に分かりやすいのかなと感じました。

他の観点として、体系的な学習活動というものがあるのですが、啓林館については原理や法則の例えを、家庭でもできる何か身近な作業や運動とかというものを取り上げていただいて、ちょっとやってみようかなみたいな、そういうふう子どもたちに思わせるような工夫がなされていると感じました。

よって、理科については啓林館がいいなというふうに思いました。以上です。

○大河内教育長

1 社に、啓林館に絞るということですね。

○高橋委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

○村上委員

全ての教科書を見せていただいて、写真の美しさであったりとか、デザイン力であったりとか、そういう面でも皆さんすごくすばらしいなというふうに感じました。

私はその中でも啓林館と大日本と、あと東京書籍がすごく目を引いたのですけれども、啓林館は科学実験の細かい説明がされていて、実験の最中に振り返りとして分かりやすいなという点が一つと、あと、面白いなと思ったのは、部活ラボということで、興味をそそる、先ほど子どもの生活に即したというようなところの視点も取り入れられているということと、あと、小・中学校、そして高校への学習のつながりも配慮されているというところがすごくすばらしいなと思いました。先ほどデザインのことを言ったのですけれども、東京書籍の本当に写真と、選ぶ写真のセンスというものがものすごくよくて、本当眺めていたいというぐらい迫力と、あとイラストなんかのビジュアルがものすごくすてきだということですね。ただ、教科書の大きさが子どもたちにとってどうなのかな。あと学校の生活の中でのロッカーであったりとか、子どもたちの視線に立って考えてみて、結果としては私の中では大日本図書の「理科の世界」が、この逗子の子どもたちにはいいのではないかなと感じています。

ここでも小・中の連携であったりとか、つまずき、理科って苦手意識をすごく持つ科目でもあるのですけれども、つまずきが予想されるところには特別な特集が組まれていたりとか、そういう配慮がされているので、大日本図書が逗子の子どもたちにはいいのかなと感じています。

○大河内教育長

大日本に絞るということですね。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

そのほかいかがでしょうか。

○星山委員

私は啓林館がいいなと思いました。先ほどもほかの委員がおっしゃっていましたが、工夫がとてもあって面白くて、いろいろなラボという、何か研究室というか、そういうことを身近に感じて、自分から探求していくという、子どもの主体的な気持ちを上手に引き出しながらサイエンスの世界に導くというところは、とても面白いと思ひまして、私は啓林館がいいなと思いました。

○大河内教育長

それでは、皆さんから御意見いただきましたが、大日本図書と啓林館に分かれていたのではないかと思います。

それでは、お諮りしたいと思います。大日本図書を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 2 名)

分かりました。

それでは、啓林館がいいと。

(挙 手 2 名)

分かりました。

それでは、2対2で同数ですので、教育長決裁ということにいたします。ちょっとお待ちください。

それでは、私のほうから。どの教科書も優劣つけがたい形で、本当に色彩、工夫、子どもたちが自ら進んで学べるような工夫がされていました。最初は、啓林館と大日本と東書という形で絞り込んでいきました。それで、皆様の御意見の中で、啓林館と大日本ということで御意見出ましたので。私のほうは、先ほどの歴史のときもお話ししましたが、逗子の子どもたち、いわゆる教育指導教員として昨年度、一昨年度、現場を回っていましたので。子どもたちの学ぶ様子を見させてもらう中で、教科書を見る中で絶えず学校現場で子どもたちが教科書を手にしたときにどうなのかなということを視点に持ちながら、今、4人の委員の皆様のお話を聞いて、ここで私のほうで決断しなくてはならないのですけども。一つは、3年間の学びの中で科学の探求する力の育成ということで、これは理科の学習指導要領の中の目標に出ているのですけども、そういうことがどのように工夫されていて、現場がどのようにそれを評価しているかということ。それから、どうしても実験等いろいろありますので、分かりやすく、理解が深まるような構成上の工夫はどんなふうに行われているのか。そして、一番は、使いやすさと体裁です。ほとんど差がない中で、そこだけではないのですけども、あ

とは、現場の子どもたちの様子を見て、先生方の説明の中に、子どもたちにとって一番評価をする部分につきましては、やはり分かりやすさということで、各調査員の中で報告を受けています。

そこでトータルして、本当に決めがたいのですけども、1本に決めなくてはなりません。今のことを踏まえながら、総合的に見て、私のほうで大日本図書「理科の世界」を採択するというにしたいと思います。理科については大日本図書に決定いたしますが、いかがですか。よろしいですか。

(全員異議なし)

それでは、ありがとうございます。

音楽の一般、中学校音楽（一般）に移りたいと思います。いかがでしょうか。

○高橋委員

私、教育出版と教育芸術、この2社についてお話しさせていただきます。

教育出版さんについては、創作のページというものがあって、音楽なのですが、何か言葉、オノマトペというんですか、繰り返しの言葉とか、いろんなものを言葉を選びながら、みんなで何か作ってみようというコーナーがありまして、非常にこれ、何か最初のほうなのですが、リズムとか構成とか、いろいろな音楽に対するそういった基本的なところを楽しく学べ、そういうのが盛り込まれていて、楽しく、また理解も深まる工夫が非常になされているのかなと思います。

教育芸術については、内容的にはもう、音楽ですので、ほとんど一緒なのですが、これ、私の見た印象で、教育芸術のほうはすごい何かゆったり、音楽の教科書を見ていると、いろいろ楽譜とか細かいのですが、全体的な印象としてすごいゆったりした感じを受けたのですね。やっぱり音楽を聞きながら、そういった気持ちになれる教科書というのは結構重要なのかな。感覚的なところもありますし、その辺を考えたら教育芸術がいいのかなと思いました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほか、どうでしょうか。

○村上委員

2社の中を見させていただきました。教育出版のほうは、何か主体的・対話的で深い学びという、話し合う場がこの音楽のところでも考えられているという点で優れているなと感じました。

ただ、教育芸術社は、SDGsの視点であったりとか、小学校との円滑な接続ということは、両方とも出ていますけれども、先生方の勉強会の中で、本校の生徒の実態から見て適切であるかというところが、すごく重く捉えられていて、現場の先生方が教える中で、選曲であったりとか、逗子の子どもたちにふさわしいと感じているのが教育芸術社。また、合唱の取組も逗子ではありますので、そういう面でも教育芸術社がよいのではないかなと感じました。以上です。

○大河内教育長

ほか、ありますか。

○星山委員

私、音楽が専門で、実際自分が中・高の音楽なので、多少教えた経験もあるものですから、両方ともとても興味深く読ませていただきました。

それぞれ工夫があって、ますデザイン的なことなのですが、先ほどもちょっと話したのですが、楽譜を読めない子がいるのです、最近。それが、五線のところに楽譜が振ってあるところの空間認知の問題で読めないのですね。音楽がとても好きだったりするのです。やっぱりこれからの教科書って、すごくビジュアルだけじゃなくて、例えば音楽ってもともと聴覚なので、そういうものから学べる子というのも、音楽のすばらしさを伝える教科書でありたい。これ、全教科、いるかなと思うのですけれども、すごくそういうことがこれから重要視されていくのではないかなと思いました。

それから、全てそうかもしれないですけど、芸術科目とかというものは、体裁の美しさとかデザインとか、そういうことももちろん大事なのですが、選曲とか、それからこの後、美術のところでも出てくるのですけれども、そもそも何を子どもに伝えたいかというところ、すごく重要だと思うのですね。だから、私の友人に中学生の歌を作っている作曲家とかいるわけですけど、やはり今の中学生が歌いたい歌というのがあって、そういうものをちゃんと選んでいるということも、とても大事ですし、一方で文化なので、例えばおじいちゃん、おばあちゃんと孫と一緒に同じ歌を歌えるというのを、ちゃんと受け継がなければいけないと思う。小学校もそうなんです。だから、そこのバランス、選曲のバランスは感覚的なものなので、なかなか採択のとき難しいのですけれども、そこ、すごく一番大事ではないかなと、いつも音楽のときに思っているのですね。専門なので力が入ってしまうのですけれども。やはりそういうことというのが私たちの国の文化とか世代を超えて何を伝えていきたいと、歌い継ぐのかというところのバランスが、すごく重要だと思うのですよ。つまり、今の子ども

たちが欲しいものと、それから私たちが世代を超えて残したいもの。やはりそういうことと
いうのを考えていく教科書を作ってくださいと、ありがたいかなということです。

両方、両社ともすごく工夫があるのですが、そういう文化的な趣というのですかね、
そういうことを考えて、私はやはり教育芸術社かなというふうに思いました。

教育出版のほうは、よくなっているという言い方も変なのですが、すごく工夫して
いらっちゃって、見やすさとか、それから全ての子どもたちにどういう教科書がいいかとい
う点においては、とても優れていらっやると思うのですね。だから、甲乙つけがたいので
すけれども、1社選ぶとしたらそういうような過程を経て、私は教育芸術社がいいなと思
いました。以上です。

○大河内教育長

そのほか、いかがですか。

お考えが同じだということで発言がされないと判断いたします。それでよろしいでしょ
うか。

それでは、1社に絞ったお話もいただきましたが、確認のために音楽（一般）については
2社しかありませんので、再度確認をしたいと思います。教育芸術を採択するのがよいとお
考えの方、挙手をお願いいたします。

（ 挙 手 全 員 ）

それでは、音楽（一般）につきましては、全員一致で教育芸術の「音楽」を選択するこ
とで決定いたしました。よろしいですか。

次に行きます。音楽（器楽）に移ります。何か御意見ございませんでしょうか。

○村上委員

同じ音楽ということで、音楽の採択をした教育芸術社が、勉強を進めていく中で、やりや
すいのではないかなと感じます。

あと、伝統や文化のところで、和楽器が設定されているところも、日本の文化を学ぶとい
うところで、特にすばらしいところではないかなと感じています。

○大河内教育長

教育芸術社ということですか。

○村上委員

はい。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。2社しかないので、意見の出し方も難しいですけれども、いかがですか。

○高橋委員

2社しかありませんけれども、教育芸術社のほうの打楽器の紹介の部分で、片方はこういった打楽器がありますよという紹介と、教育芸術社のほうではその紹介にとどまらず、簡単ですけれども、演奏の方法とかというところまで、ちょっと紹介されていたというところは印象でした。

ということで、私は教育芸術社のほうがいいなというふうに思います。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。よろしいですか。それでは、2社ですので、お考えが一緒ということで、よろしいですね。

特にないようですので、再度教育芸術と教育出版でお諮りしたいと思います。いかがでしょうか、よろしいですか。

それでは、教育芸術を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いします。

(挙 手 全 員)

ありがとうございます。全員一致で教育芸術の「音楽（器楽）」を採択することに決定いたしました。よろしいですか。

続きまして美術のほうに移りたいと思います。中学校美術について、何か御意見はございませんでしょうか。

○若林委員

美術3社見させていただきました。本当にどの社もきれいで、わくわくするようなもので、心ひかれるものがいっぱいありました。やはり美術というと、子どもたち一人一人の感性を大切にしていきたいというような分野だと思うのですけれども、中には美術も苦手と思う生徒さんもいると思います。

その点で言うと、日本文教出版は、誰もが知っているアニメのキャラクターが出てきていたり、写真が大きくて、色彩がとてもまたさらに鮮やかだったというふうに感じました。

生活の身近なところに美術をと考えると、お弁当箱とかお節料理とかの色のバランスですか、色の効果、食育と何か絡めて見ていて楽しかったなというところが工夫がされていると思いました。

光村のほうも、見開きのところに生徒たちが撮った写真がありまして、テーマは谷川俊太

郎さんの「美しい」という詩にのせて、その美しいと思うもの、それぞれ感性で、いろいろな写真があったのは、とても楽しく拝見させていただきました。

でも、総合的に考えますと、日本文教出版がよかったかなというふうに思います。

○大河内教育長

ありがとうございます。そのほか、いかがですか。

○村上委員

本当に今、若林委員がおっしゃったように、どの教科書も面白い作品であったりとか、興味をそそる作品が選んであり、どれをとっても本当にいいのだらうなというような形の中、今、先におっしゃられましたように、光村図書の子どもたちが撮った写真が載せてあるというところが、子どもたちにとって、Instagramであったりとか、SNSのところで、自分が写真を撮るという行為が多い中、新しい視点でどの教科書の写真も見ることができるような工夫がされていたのが新しいなと思いました。

また、光村ということで、国語の教科書との連携もあっていらっしゃるところが面白いく所だらうなと感じました。

3社見せていただいて、私は日本文教出版がいいと思ったのですが、その理由としては、大人になるまでに見ておきたい、本物の美術が、ビジュアル的に迫力のある写真が載せられていて、それを文化として子どもたちに。美術ということで、視覚が大切になってくるので、そういうところで写真が大きく、日本を代表するような美術を取り上げられているところがすごくいいなと思いました。

なので、私は日本文教出版がよいと思いました。あと、インクルーシブ教育にも配慮がされているということも、逗子らしいということを感じました。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほか、いかがですか。

○高橋委員

私も日本文教出版がいいなと思いました。今、村上委員からもお話ありましたが、いろいろなつながりとか、身近なものが取り上げられている。非常に興味が湧くような仕掛けになっているというふうに感じましたし、あと、他教科との関連づけで、学びが広がっていくということにも工夫されているのかなと感じました。以上です。

○大河内教育長

いかがでしょうか。よろしいですか。お考えが共通しているということで、発言がないと

いうことで判断したいと思います。

では、美術につきましては、皆様の…御意見がない方もいらっしゃると思いますので、採決をしたいと思います。一番採択したほうがいいのではないかという教科書ですが、日本文教出版を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いします。

(挙 手 全 員)

ありがとうございます。それでは、全員一致で日本文教出版の「美術」を選択することに決定いたしました。よろしいですか。

続きまして、中学校保健体育に移りたいと思います。何か御意見はございませんでしょうか。

○村上委員

私は、見せていただいた中で、東京書籍がいいなと思いました。それは、保健体育の教科書の中で、子ども、生徒が記述する欄が教科書の中で多く設けられているということが、自分が振り返って勉強するところで、すごく勉強しやすいのではないかなということと、あと、リスクマネジメントを2年生のときに取り入れられていて、障がいの防止であったりとか、予測して回避するということは、部活をする上でもとても大切な視点なので、それを保健体育で学べるというのは、すごく、これからいろいろなことをするにしても、遊びに行くにしても大切な視点なので、そういうものが学べるというところがすごくいいと思いました。以上です。

○大河内教育長

東書ということで。

○村上委員

はい、東書で。

○大河内教育長

そのほか、いかがですか。

○星山委員

保健体育も、それぞれ工夫されていて、とてもよかったかなと思います。大修館とかも、ポイントから掘り下げるような内容になっていて、とても主体的に学びやすいのではないかなと思いました。

私も東京書籍が最終的には一番いいかなと思いました。これはステップが細かく分かれていて、とても学びやすいということや、今、自分たちで主体的に考えて、ただ一方的に繰り返

返したり、言われたとおりするという学び方よりも、自分たちで計画を立てて、いろいろなところで問いかけに答えながら学習していくという方法が採用されていて、とてもいいのではないかなと思いましたので、私も東京書籍がいいのではないかなと思いました。

○大河内教育長

そのほか、ございますか。

それでは、御意見がないようですので、発言されたお2人の御意見に同調されているのではと判断いたしまして、私のほうで確認したいと思います。東京書籍の推薦のお考えを持った委員がいましたので、保健体育につきましては東京書籍「新しい保健体育」に関する意見が多かったので、東京書籍を採択するについて挙手をお願いいたします。

(挙 手 全 員)

わかりました。全員一致で東京書籍の「新しい保健体育」を採択することに決定いたします。よろしいでしょうか。

それでは、続いて中学校技術・家庭（技術分野）に移ります。何か御意見ございませんでしょうか。

○高橋委員

私、東京書籍がいいのかなと思います。身近なものが取り上げられて、本棚とか、今思い起こすと、ああ、そういえば作ったことがあるなというふうに思いますが、進めていくとLEDとUSBで接続とか、今の技術といいますか、そういうのが簡単にできてしまうのだと思うのですが、そういったところも取り上げられているというところで、東京書籍がいいかなと思います。以上です。

○大河内教育長

ほか、いかがでしょうか。なかなか技術分野だと、経験値もあるのでですけども。ぱっと教科書を見ていただいて、感想を言っていただくと助かるのですが。もしイメージが湧かなければ、前に教科書がありますので。（「見せていただいてもいいですか。」の声あり）どうぞ、見てください。

○高橋委員

あと、QRコードで動画というのをちょっと見させていただいたのですが、こうやりましょうと、こういうふうにやると失敗しますよというような、その辺も載っていて、すごく親切な作りになっているなという感想もありました。

○星山委員

見やすさとか、それからカラーとかも、どこも本当によく工夫されていて、非常に分かりやすいと思います。特に開隆堂は流れがつかみやすいですし、教育図書は導入のところから子どもたちの意欲を上手に引きつけていますし、最終的には私も高橋委員と一緒に東京書籍がいいかなと思いました。これは構成が分かりやすく、子どもたちが学ぶときにいいかなと思いましたし、総合的かというとあれなのですけれども、バランスがよくていいかなと思いましたので、私も東京書籍がいいのかなと思います。

○大河内教育長

ありがとうございます。何回も見ているのですけれども、数が多いので、確認していただいて結構です。時間をとりますので、どうぞ。

○村上委員

私も、3社見せていただいて、教育図書と東京書籍が、どちらもいいなと思っていて、教育図書のところでは、技術のハンドブックというのがある、それぞれの機械の使い方であるとか、種をいつ植えたらいいのかとか、そういうものが別冊になっているので、作業するときにとっても便利だろうなと思いました。あと、QRコードなどもたくさん取り入れられていて、画像で見たり、こういう本の図解であったりとか、そういうものがすごく分かりやすくされていると思いました。

全体的な教科書のつくりとして、私も結果、東京書籍の教科書がいいと思っていて、生徒の関心の持っていく方が、すごく分かりやすいのと、あとページのつくりがすっきりしているところが学びやすいのではないかなと思っていて、東京書籍がいいと思っています。

○若林委員

今見た感想のところ、東京書籍は、技術の見方、考え方や、生活を営むために係る見方、考え方を学習ができるというところが、ぱっと開いて窓のようになっていたりとか、その辺の見やすさがありますので、ハンドブックの共通のほうもありますけれども、使い方もいいですし、東京書籍のほうを使いやすいかなと、ちょっとその部分だけで思いましたけど。

○大河内教育長

ありがとうございます。色が似ているので、なかなか確認しないと、みんなカラフルになっているんですね。若林委員、東京書籍でよろしいですか。

○若林委員

はい。

○大河内教育長

それでは、技術につきましては、今お話しいただきまして、東京書籍についての御意見が多かったようですので、東京書籍でお諮りしてよろしいですか。それでは、東京書籍を採択するのがよいとお考えの方は挙手をお願いします。

(挙 手 全 員)

ありがとうございます。全員一致で東京書籍の「新しい技術・家庭（技術分野）」を採択することに決定いたしました。よろしいですね。

それでは、次に移ります。中学校技術・家庭（家庭分野）に入ります。何か御意見ないでしょうか。

○若林委員

3社見させていただきました。甲乙つけがたいというのはもちろんなのですが、保育園という視点で、乳幼児とかかわるといところから、幼児の生活と家族という単元をポイントにして、ちょっと見させていただきました。

今、実際市内の中学生が交流授業の中で交流している一部中学校もありますので、その辺で見ていきました。子どもの体の発達とか心の発達などをイラストや写真を使って見て、すぐ分かりやすいという工夫があったのが東京書籍かなと思っていて、実物大の靴だとか、赤ちゃんの靴だとか、手袋とか歯ブラシで、あ、こんな小さいんだなといところのイラストも分かりやすかったですし、小さい子どもたちが身につける生活習慣に対して、言葉として支えられて身につくんだよという言葉があったのが東京書籍で、支援してあげなくちゃいけないんだという気持ちを持っていただけるというのは、すごく学生さんたちも分かりやすいのかなといところがありました。

おやつのページでは、実際に逗子の保育園で今出ているメニューがあったのをちょっと見て、びっくりして、ああよかったと思ったりもしたので、そういう意味で東京書籍がいいかなと思いました。ただ、教育図書のほうも、みんながよく知っているアニメのキャラクターとかが載っているので、その辺は親しみを持っていけるのかなといものもありました。

東京書籍のほうで、全部幼児の生活といのはどの会社もあるのですが、東京書籍のほうは一日の流れが時間ごとに写真で載っていたり、あと、行くだけではなくて、中学校に呼ぼうというコーナーもあったところがいいかなと、一つそこがよかったなと思いましたが、最終的に東京書籍のほうで考えました。

○大河内教育長

東書ということで。ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。教科書を確認していただいても構いませんので。

○星山委員

今お話にありましたように、私も東京書籍がいいなと思いました。理由としては、非常に身近なもので、対話的に取り組めるような工夫がされているということや、工夫が多いという点において、いいなというふうに思いました。どの教科書も、とても丁寧できれいにできているということに関しては、すばらしいなと思いました。

○大河内教育長

ありがとうございます。

○村上委員

私も、すごく悩むところではあるのですが、目ばかりであったりとか、子どもの靴だったりとか、実際の大きさを思っていて、想像ができやすいように作られているのが東京書籍だなというふうに感じています。教育図書のほうでも、自分で書き込みができるような工夫があったりとか、3D図を取り上げてあったりとか、すごくいい点はとても多いのですが、技術と家庭科という、セットで学ぶものということもありますし、そろっているということも使いやすさにもつながるのかなということと、あと、東京書籍を見たときに、ここの表紙のところに「自立と共生を目指して」というふうに書いてあるのですが、多分テーマとして、防災であったりとかエコであったりとか、書かれている自立というところで、家庭科ってやっぱり自分が親元から自立していくときに一番大切なところなので、そういう視点でも東京書籍がいいと思います。

○大河内教育長

そのほか、いかがですか。

○高橋委員

私は教育図書と東書でちょっとお話しさせていただきます。教育図書については、全体的な印象として、ちょっと文章を少なめにして、図や写真とかイラストで表現されているところは、感覚的にわかりやすいというところが印象にありました。

東京書籍については、QRコードからの動画がかなり豊富で、学びを深めるということに大変役に立つのかなと。実際どうやるのかなというのを見て、口で説明するよりは、見たほうがわかりやすいというところで言うと、そうしますと、東京書籍さんがいいのかなというふうに思います。以上です。

○大河内教育長

そのほかございますか。

それでは、全員から御意見いただきましたので、家庭科については東京書籍についての御意見が多かったように思いますので、東京書籍でお諮りしたいと思います。東京書籍を採択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 全 員)

全員一致で東京書籍の「新しい技術・家庭（家庭分野）」を採択することに決定いたしました。よろしいですか。

続きまして、中学校外国語（英語）に移ります。外国語（英語）について何か御意見ございませんでしょうか。

○村上委員

英語の教科書、全て見させていただきました。本当にこの時代に英語を学びたかったなどというふうに思うような英語の教科書で、自分も欲しいような教科書ばかりでした。QRコードで音声を聞けたり、映像を見られたりというものが結構いろいろな教科書に採用されていて、それを全部実際に試して、聞いてみました。その中で、私は光村と三省堂がすごく分かりやすいなというふうに感じました。

三省堂のほうは、文法のまとめなんかも取り扱ったレッスンのすぐ後に取り上げられてあったりとか、あとQRコードを読み込んだときに、自主学習のしやすいような、ちょっと言葉で今うまく説明できないですけども、ちゃんと教科書どおりに聞けるといようなつくりになっていて、自分が自宅学習、今、コロナ禍の中、またあるかもしれないというふうに考えると、そういうものもできるようなつくりになっているというところが、すごくいいなと思っています。また、小学校での学びも生かせるようなつくりになっていました。

一番いいなと思ったのは、光村図書の英語の教科書です。本当にこれは今までの教科書と全く違うなというのが印象で、話すために、すごく聞くということ、それを聞いて、教科書の番号を選んで、その話に沿って、このことを言っている、このことを言っている、場所はここで、時間はここでというところを、聞き取りやすく選択されていて、これをずっと学んでいたら、多分英検も取りやすい、英検という言葉を使っていいのか分からないですけども、今度大学受験なんかにも採用されそうになったりとか、そういうものを学んでいく中で、すごく分かりやすい。私もこの年になって英検の勉強を試してみたりとか、子どもと一緒に昨年度はしていたのですけれども、そういう中でも本当にこの学習法でやっていたら、大分分

かるようになっていただろうなと感じました。なので、私は光村図書がいいと思っています。以上です。

○大河内教育長

そのほか、いかがですか。

○若林委員

話せる英語ということを考えると、とても本当にどの会社の本もQRコードで拾っていくと、本当に立派なスピーチとか、発音がいいものが聞けるとか、そういったことも工夫がされていますし、そして主体的に学ぶ、みんなで討論していくという意味では、グループで必ず深めていくというようなことも工夫されていると思います。

私は三省堂がいいなと思ったのですが、英語を学ぶには、これから1年、2年、3年と続いていくのですけれども、やはり言葉を使うことは思いを伝えることというメッセージがあったのですね。世界地図の中に、いろいろな国の言葉で「ありがとう」という言葉が紹介されていたり、その次の教科書の仕組みとかも、こうやって学習していくのだなというのが、見ただけで分かりやすくなっていると思いました。各レッスンのイラストとか、例文などのバランスがいいなというところとか、巻末の付録がたっぷりと補足できる、補習できるような内容がついていて、いいなというふうに感じたので、本当にどの会社もすばらしいのですけれども、そういったポイントで三省堂がよかったなと思いました。

○大河内教育長

ありがとうございます。ほか、どうでしょうか。

○高橋委員

私も三省堂と光村の2社に絞りさせていただきまして、三省堂は英語を通じて身近なところから世界に広がるという、言葉というのはやはり道具なので、その道具をどういうふうに使っていったら、自分の世界を広げるかというような、その辺の流れみたいなものが三省堂には感じ取ることができました。

光村については、先ほど村上委員からもお話あった、やはりしゃべる、英語で、文法だとか、いろいろありますけれども、やはり言葉なので、道具なので、使わないとどんどん使えなくなっていっちゃうという観点から言うと、光村のほうで帯教材というのが、生徒同士の学び合いとか、会話というものを学んでいく上での副教材みたいな感じになっているのですけど、帯教材が非常に効果的な教材なのかなというふうに感じました。私は光村がいいなと思います。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。

○星山委員

私は三省堂がいいと思います。理由は、読みやすく、子どもたちが使うときに一番工夫されているかなということです。英語の得意な子と苦手な子というのは、割とはっきり分かれる教科の一つかなと思いますので、これから小学校でもスタートして、また中学校になって本格的に学ぶときに、つまずきにくいという工夫がされているなと思いましたので、私は三省堂がいいと思います。

○大河内教育長

ありがとうございます。分かれた御意見になっておりますので、確認します。光村図書と三省堂の採択についての御意見いただきましたけれども、その2つで挙手をとってよろしいですか。

それでは、光村図書を選択するのがよいとお考えの方、挙手をお願いします。

(挙 手 2 名)

三省堂よいとお考えの方。

(挙 手 2 名)

2対2ということで、同数です。それでは、教育長の裁決といたします。ちょっと時間ください。

それでは、三省堂と光村に分かれましたので、私の意見を。4人の御意見がありますので、ダブリは避けまして、私のほうは学習活動、文法の理解、そしてまとめ、その他教員の指導の工夫、外国語の教科の目標でありますコミュニケーションにおける見方、考え方を通してということで、伝え合ったりするコミュニケーションをどのように図っていくかというところの育成の部分で、調査研究の先生方の報告やいろいろ検討させていただいた中で、生徒自身が学習活動の中での使いやすさについてというところの部分で、まず1つ。それから、生徒の実態から見てどの教科書がいいのかなというところを踏まえて見させていただきました。

その中で、光村については、バランスがよくて、写真のリスニングについても、それから動画を用いての内容の導入についてもすばらしく、全体的に子どもたちがスムーズに学習に入っていくような捉え方をしているのかなという感じがしております。

三省堂については、先ほど言いましたように、また何人かの委員からもありましたけれども、巻末の工夫、それから、まとめ方の工夫もということで、いわゆる子どもにとって使い

やすい、それから現場で教えている先生方が「どの教科書を」というところの部分もトータル的に考えさせていただきました。

その中で、三省堂、それから光村、どちらも優劣つけがたいですけれども、それを優先させていただきますして、私は総合的に見て三省堂「ニュークラウン」を採択するというにしたいと思います。英語については三省堂に決定してよろしいですか。

三省堂「ニュークラウン」を採択するというに決定いたしました。

続きまして、道徳に移ります。何か御意見はございませんか。

○村上委員

道徳は数年前から新しい教科ということで、取り入れられていて、何回か、小学校と中学校の導入で、そのたびに話し合われてきたのですけれども、何かに、大人の考えに沿わせるような形ではなく、自分たちで、答えはなくても話し合いをしていくことが大切だというのは何回か話し合った記憶はあります。そういう視点で答えを導くのではなくて、子どもたちが話し合う工夫がされているものはどれかなという視点で見させていただきました。

そのときに一番いいなと思ったのは、私は光村図書です。一番最初に道徳の教科書ができてきたときは、また本当にどの出版社も工夫がされているなと感じまして、文章も、そのときよりもすごく簡潔に、短くなっているということと、あと国語の教科書との差別化ということも、すごく研究されているなということを今回とても感じました。

その中で、どうして光村がいいのかなということは、皆さんいろいろなテーマでいじめも取り上げているところもありますし、あと社会的なことを取り上げている教科書もあるのですけれども、一番子どもたちの学校生活の実態と合っているということと、身近な生活をテーマに、子どもたち同士が話し合うような工夫がされているのが光村でしたので、私は光村図書がいいと思いました。

○大河内教育長

ありがとうございます。その他いかがですか。

○若林委員

村上委員のおっしゃったこと、本当にそうだと思っているのですけれども、6社見させていただいて、さまざまな分野からテーマがあって、道徳的な課題を主体的に考えられるようになっていたと思います。どうしても答えありきみたいな、導くような形で誘導するというのではなくて、自分の考えもそうだけれども、相手の考えを聞く、こんないろいろな考えがあるんだということに気づくことがとても大事だと思っていて、なので光村はそういうと

ころ、テーマの最後にも、じゃあ見方を変えてというような、別の視点にも促したりとか、つなげようということで、さらにほかの教科にもつなげて深めるということができるようになっていて、いいと思いました。

東京書籍も、最後に自分の学びを振り返ろうという、切り取れるワークシートや、何かホワイトボードみたいな紙があるのですけれども、何度も書いたり消したり、みんなの意見を討論できるのだろうなというようなページもあって、とてもいいなと思いました。

でも、総合的に見て、私は光村図書を決めました。

○大河内教育長

ありがとうございます。その他いかがですか。

○高橋委員

やはり先ほど村上委員からもお話いただきましたが、道徳で、ありきということではなくて、教科書とはいえ、そういった考え方とか感じ方とかというもののきっかけづくりというところの役割もあるのかなと思います。

その中で、東京書籍はかなりゆったりしたつくりで、子どもたちが考える時間を持てるようなつくりになっているのかなというふうに感じます。

光村については、3年間を通してバランスよく題材が取り上げられている印象を受けました。

なかなか人それぞれの考え方がありますので、評価とかいろいろなことで大変な面もあるかと思いますが、総合的に見ると私は光村がいいなというふうに感じました。以上です。

○大河内教育長

その他いかがですか。

○星山委員

私も東京書籍か光村かというところで検討しました。私は、たまたま前も教育委員を、違う市でしてしまして、採択したときに委員をしていたので、今回すごく違う、工夫してくださっているのだなと、すごくよくわかりました。特に道徳は教科になってまだ日が浅いので、まだお互い学びながら、現場の先生や子どもたちの反応、それから作ってくださる方たちが、まだ試行錯誤して、歴史が短いので、いろいろ考えることがあるのではないかなということを感じました。

題材の選び方に関しては、私は以前から、まだ余地があるのではないかなと思いました。

割と題材の選び方というか、すごく重要だと思うのですが、前回私がすごく気になったのは、編集委員会という名前で、ある部分を切り取って引用なさっているのですが、その引用の仕方が様々で、それを誰が書いているかというのがあまりクリアではないので、論点がずれるのではないかなということが気になっていたのですが、今回すごくそこが改善されているような気がして、どこの道徳もすごく好意的に読めたということがあります。

ただ、まだ中学生ぐらいになると、大人が何の答えを求めているかということを感じ取るので、そこでさっきから道徳は何かと、非常に難しいのですけれども、自分で考えて答えはないけれども、人間としていろいろなことを学んでいくという一つの投げかけの教材だと思うので、そこはもう少し考える余地があるのではないかなと感じたりもしました。

それと、道徳のいじめであるとか、今、学校で起こっているたくさんの課題に直結するようなことが、割と少ないのではないかなと思って、遠くの話がいっぱい出てくるのですけれども、隣の子の生活とか隣の、自分のクラスの子どもの関わり方に関しては、やはり投げかける形で、たくさん豊かな教材で考えていただきたいな、なんていうふうにも感じていたので、私は光村図書が言っている、もし自分だったらという見方を変えてという視点がとても重要ではないかなと思いました。全てのことで当事者意識を持つというか、そこに善悪があるというよりは、もし自分だったらどうするだろうという視点がとても大事な教科ではないかなというふうに思いました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。よろしいですか。それでは、道徳につきまして、皆様方から御意見いただきましたが、光村図書についての御意見が多かったので、光村図書についてお諮りしたいと思います。道徳について、光村図書を採択することがよいとお考えの方、挙手をお願いいたします。

(挙 手 全 員)

全員一致で光村図書の「中学校道徳」を採択することに決定いたしました。

全体を通して何かございませんでしょうか。

○村上委員

私たちの話合いの中で、子どもが、最初、教育長がおっしゃったように、子どもにとって学びやすいものなのか、また先生方が教えやすいものなのか、取扱いしやすいものなのかということがあったのですけれども、実際、この教科書でというふうになった場合は、学校の中での例えば国語の教科の先生方の連携であったりとか、特に道徳なんかは1人の先生の感

性でその教科書を使うのではなくて、道徳科として学校としてどうなのか、またそういう勉強会が開かれるのであれば、逗子市は小さな市ですので、その教科の先生方が集まってディスカッションをする場を設けるといことも、教える中で先生の自信になっていくのではないかと思いますので、先生方がその教科書をどのように使うのかということも、学校内で共有して使っていただけたらいいなと思います。それで、使ってみて、先生方のフィードバックということも、少しお伺いできたらなというふうに考えています。子どもたちがよい学びが得られることを願っています。よろしくお願いたします。

○大河内教育長

そのほかございますか。

○星山委員

今は逗子の教育委員という立場なのですが、私は教員養成を、長い間して、先ほどもちらっと申し上げたのですが、特別支援が専門なので、どちらかという学びに困難を抱えた子どもたちが今、直面している問題について、教科書のこれからということについて、少しだけ感想をお伝えしたいと思います。

1点目は、個人内差ですね。個人内差、自分の中にある得意な科目と不得意な部分の差がすごく広がって、例えば英語大好きだけど、文字が反対で読めない子もいますし、音楽大好きなのに五線譜が読めない子もいますし、数学が大好きなのにグラフの重なりが見えない子もいるのです。やはりそういうことに関して、これから多様な学びのデザインの工夫ということが、教科書の中でもこれから変わっていくと思うので、ぜひそういう子どもたちの対応するということが、全ての子どもたちの学びやすさにつながっていくということで研究していただけるとありがたいなと思います。全ての教科書にユニバーサルデザインと書いてありますが、それが何かということに関して、本当に学んでいただけたら、とてもうれしいです。ただ色とか見やすさではないです。先ほどの数学の教科書で、黒板そのものが出てくるということによって、何人かの子どもたちがその教科がやはり得意になるということもあるかなというふうに思いますので、そんなことを一つ思いました。

それから、先ほど申し上げたように、遠い話もちろん大切なのですが、学校が学びやすく、楽しく学べるという環境をデザインするというのも一つの教科書の使命かなと思うので、全ての子どもたちが学びやすいという工夫をこれからもしていけたらいいのではないかなということと、最後なのですが、今、コロナで、私も大学の授業、全部オンラインでやりましたが、教科書の意味が随分変わったな。今もう本当に想定外のいろいろな工夫を

しなければいけない。その中で、先ほどから出てきていますけど、QRコードであったり動画であったり、これからそちらのほうの工夫というのは、今、先生たちがものすごく疲れていて、教科書だけ教えるとか、そのとおりやろうと思ったら、とても追いつかないわけですね。だから、ここでやはりすごい転換点なのではないかなと。教科書も転換点だし、学び方もこれから変わっていくところではないかなと思いますので、このような機会ではあります。ぜひ現場の先生、私たちも現場の先生の声が一番大事にしながら、いろいろ選んできたつもりですけれども、もしそんなことが取り入れられていって、ピンチではありますけれども、学びやすさのチャンスに変えられたらいいのではないかなと思いました。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。今、星山委員もありましたけれども、現場の先生方の思いや、それから本市の採択に当たっての重視ポイントも踏まえながら、貴重な御意見をいただいた今日の日だと思えます。本当にありがとうございました。

○村上委員

あと一つ。

○大河内教育長

どうぞ。

○村上委員

ごめんなさい。ちょっと気になることが一つあって、特別支援の教室の養育の子たちも同じ教科書を使うということで、かなりレベルが上がった教科もあると思います。そこを同じ教科書でやるというのは、かなり困難もあるのかなというふうに感じますので、そこは学校や教育委員会の中で工夫をして、その子たちの学びをちゃんと守っていくことがとても大切だなというふうに思いました。

もう一つは、かなり教科書、昔よりも大きくなって、小学校のランドセルなんかでは問題になっていますけれども、中学生も部活の道具もあるし、自分の、我が子ものすごい荷物を持って、何回も、買ったリュックが壊れるということが実際起きているので、置き勉というふうに言いますが、本当に必要な教科書を持ち帰って、学校の中の整理の中で、この、じゃあ補助教材であったりとか、家で今回学ばないもの、全部を提供できればいいのですけれども、実際に時間のこともありますし、少し置いて帰るということであったりとか、そこら辺も中学校の現場では話し合っただけならなというふうに感じています。すみません、よろしく願いいたします。

○大河内教育長

ありがとうございました。所管も来ていますので、よろしくお願いします。

それでは、貴重な御意見ありがとうございました。以上をもちまして、中学校教科用図書採択を終わります。

続いて、事務局にお尋ねいたします。令和3年小学校使用教科書について、小学校現場から何か指摘がありましたか。また、令和3年度特別支援学級において学ぶ児童・生徒の使用する教科用図書のうち、検定教科書用図書以外に一般図書の使用の希望が小・中学校からありましたでしょうか。

○内田学校教育課担当課長

小学校使用教科書は、継続使用の年となっております。学校から特に指摘はございませんでした。

また、先ほど村上委員からもお話ありましたけれども、市内の小・中学校のほうから特別支援学級について、学校教育法附則9条に関わる一般図書の希望はございませんでした。以上です。

○大河内教育長

ありがとうございます。それでは、令和3年度市内小学校使用教科書及び中学校特別支援学級では、これまでの教科書を継続使用することとしてよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

それでは、小学校の継続使用を決定いたします。

◎日程第3「その他」

○大河内教育長

日程第3「その他」を議題としてよろしいでしょうか。

その他、議事として何かございますか。

○佐藤教育部次長

本日予定している案件はございません。

○大河内教育長

委員の皆さんからも、なしということによろしいですか。

ないようですので、以上でその他について終わります。

次回の定例会についてですが、9月25日（金曜日）午後2時30分からを予定しております

が、決定については改めて委員に御通知いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会 8 月定例会を終了いたします。ありがとうございました。